

会議・打合せ等記録

市長	副市長	教育長	教育次長	場長	栗野場長	係長	担当

報告日：平成28年2月23日

名称	平成27年度 第2回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会						
日時	平成28年2月23日（火） 午前10時00分～11時05分						
場所	学校給食共同調理場 2階 会議室						
出席者	高橋教育長、田野井教育次長、仲田場長、大貫場長、渡辺係長、鈴木(希)主査、鈴木(彩)主査、小出栄養教諭 学校給食共同調理場運営協議会委員 7名（別紙のとおり）						
内容及び結果等	1 開会（進行：仲田場長） 2 挨拶（高橋臣一教育長） 3 議事 （1）協議事項（議長：早乙女卓史副委員長） ア 委員長選出 橋本正男委員 承認 （2）報告事項（議長：橋本正男委員長） ア 平成27年度学校給食事業実績について イ 給食費の滞納対策状況について ウ 食物アレルギー対応について エ 給食業務の民間委託について （3）その他 4 閉会 質疑等は別紙のとおり						
配布資料	平成27年度第2回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会資料						
次回予定	平成28年7月						
記録者	学校給食共同調理場 給食係 渡辺稔近						
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)							
公開・非公開の別	公開		・ 非公開		(公開の場合) 傍聴人数		0人

報告事項以降の質疑及び回答

報告事項

ア 平成27年度学校給食事業実績について

- ・食生活アンケート集計結果

(吉田委員) 朝食を食べない子が多いのは大変残念。学力向上にも繋がることから、学校でも指導しているがなかなか成果があがらない。部活動の保護者あてに話をしてもらおうと、大変熱心に聞いているので、啓発にも有効かと思う。朝食食べよのキャッチフレーズなどを考えて、みんなで推進できればと考える。

⇒学力調査との関係性を見ても、朝食を食べてくる児童生徒のほうが平均点数が高いという結果を文科省も発表している。部活動においても強い体づくりに有効である旨保護者に話していきたい。その際はまた、学校の協力をお願いします。

(田野井次長) 生涯学習課の家庭教育においても「早寝・早起き・朝ごはん」をキャッチフレーズにし、大学の先生を講師に呼んで講演会を開催している。川島隆太先生は朝食と学力の効用を科学的に説明してくれている。講演会出席者には十分理解いただいているが、出席していない方への啓発がむしろ大事と考えている。

学校給食を残してしまう理由に「時間が足りない」という結果があるが、学校での実際の給食時間はどのようになっているのか？

(吉田委員) 12時30分から15分間で準備をして、12時45分から1時5分までの20分間で食べることにしている。1年生は入学したての4月5月は準備の仕方が違い不慣れなのと量も増えるため、時間は少しかかりぎみだが、慣れてくれば問題ない。むしろ、好き嫌いにより遅くなるということがある。アンケートの時期が7月だったのもあると思う。

(鈴木委員) 小学校も原則20分間はとっているが、低学年で特別に食べるのが遅い児童はみんなよりも先に食べ始めさせている。だんだんみんなと一緒に時間で食べられようとしている。また、「いただきます」から10分間は「もぐもぐタイム」にて、黙って食べる時間を設けている。実際には時間が足りないから残すのではなく、嫌いだから食べられないのだと思う。

⇒小学校の給食においては、楽しく食べるということも重要ですが、すぐにおしゃべりが始まってしまうと時間がなくなってしまうので「もぐもぐタイム」を設けていただいている。喫食時間は学校によっては個人対応も可能だと思いますが、共同調理場の受配校は食器の回収時間も決まっていますので、短いと感じている児童もいるのかなと感じている。

- ・学校給食 PR 事業
質疑なし
- ・家庭料理教室等実施状況
質疑なし

H28年2月23日 第2回学校給食共同調理場運営協議会

- ・栄養教諭等によるスポーツ栄養指導推進事業

(高橋教育長) この事業は来年度もあるのか？

⇒県から次年度の話はまだないが、今年度栄養教諭2名が講習を受けてきたので、他の栄養教諭等に伝達し、保護者にも下していくようにしたい。

(高橋教育長) 中学生の部活動や小学生のスポーツ少年団の指導者を対象に研修会を開催するのも有効。市として継続していくべき。

⇒中学校ではすでに生徒を対象に話をしている。学校の協力を得ながら今後は保護者等に働きかけをしていきたい。

- ・学校給食食材の放射性物質検査

質疑なし

- ・学校給食調理場施設整備状況

質疑なし

イ 給食費の滞納対策状況について

質疑なし

ウ 食物アレルギー対応について

質疑なし

エ 給食業務の民間委託について

質疑なし

その他

(大山委員) 給食を残す子どもが多いと感じる。我々の時代は食べ終わるまで居残りさせられたこともあった。今の子どもたちは食べるのが遅いのか？学校での対応等はどのようにしているのか。

⇒今は強く食べさせることはしていない。学校では限られた時間内での喫食のため、今以上の指導は難しいと思うが、共同調理場においては、社会科見学時に子どもたちに直接給食を作っている現場を見てもらおうと残さず食べようという意識は高まるようである。栄養士としては、どのような献立が残ってしまったか等、考慮しながら今後の献立作成をしていきたい。

(武田委員) 給食の時間は一番の楽しみであった。今の子どもたちもそうだと思う。好き嫌いはあるようだが、これからも献立など工夫をしていってほしい。

(柏熊委員) 朝食を食べてくる子が中学生はとくに少ない。西中スローガンにも「すっきり目覚め、しっかり朝食・・・」と謳っているので、引き続き推進していきたい。また、家庭料理教室はとても良い事業だと思う。PTAでも積極的に取り入れていけたらと思う。